

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-146463

(43) 公開日 平成9年(1997)6月6日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F	3/14		G 0 9 F	3/14 A
	1/10			1/10 S
	3/16			3/16
H 0 1 B	7/36		H 0 1 B	7/36 B

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平7-339833

(22) 出願日 平成7年(1995)11月20日

(71) 出願人 596000198

福田 均

愛知県岡崎市天白町字東池16-1 イース
トパーク天白803

(72) 発明者 福田 均

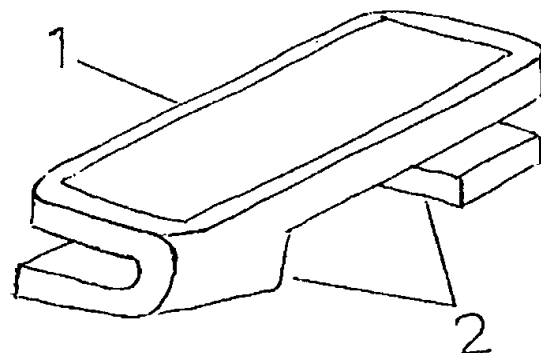
愛知県岡崎市天白町字東池16-1 イース
トパーク天白803

(54) 【発明の名称】 電源コード用ネームタグ

(57) 【要約】

【目的】電源コードの色やプラグの形状を記憶している必要がなく、電源コードの色やプラグの形状が酷似している場合でも、誤って使用中の電気機器の電源を切ってしまう可能性が無くなるネームタグを提供する。

【構成】ネームタグ(1)の下部に電源コード挟み部(2)を設ける。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネームタグ(1)の下部に電源コード挟み部(2) (2)を設けたことを特徴とした電源コード用ネームタグ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、家電製品、オフィスのOA機器、産業用機械等の電源コードに取り付ける電源コード用ネームタグに関するものである。

【0002】

【従来技術】従来では、電源コードの色やプラグの形状等にて、その電気機器を識別している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは、次のような欠点があった。

(イ) 電源コードの色やプラグの形状を記憶しておかなければならない。

(ロ) 電源コードの色やプラグの形状が酷似していると、誤って使用中の電気機器の電源を切ってしまう可能性があった。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】ネームタグ(1)の下部に電源コード挟み部(2) (2)を設けたことを特徴とした電源コード用ネームタグである。

【0005】

【作用】電源コード挟み部(2) (2)に電源コードを通して電源コードに取り付ける。上部のネームタグ(1)にその電気機器の名称を記入して使用する。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

(イ) ネームタグ(1)の下部に電源コード挟み部(2) (2)を向きを互い違いに2個又は3個設ける。電源コードが挟めるだけの幅を有する電源コード挟み部(2) (2)を設ける。本発明は以上のような構造でこれを使用するときは、電源コード挟み部(2) (2)に電源コードを通して電源コードに取り付ける。上部のネームタグ(1)にその電気機器の名称を記入して使用する。なお、図5に示すように電源コード挟み部(2) (2)の形状を両側から挟み込む形状とする 것도可能である。

【0007】

【発明の効果】電源コードの色やプラグの形状を記憶している必要がなく、電源コードの色やプラグの形状が酷似している場合でも、誤って使用中の電気機器の電源を切ってしまう可能性が無い。

【図面の簡単な説明】

【図1】コード挟み部(2)が2個の場合、本発明の斜視図

【図2】コード挟み部(2)が3個の場合、本発明の斜視図

【図3】コード挟み部(2)が2個の場合、本発明の使用状態を示す斜視図

【図4】コード挟み部(2)が3個の場合、本発明の使用状態を示す斜視図

【図5】本発明の他の実施例を示す斜視図

【符号の説明】

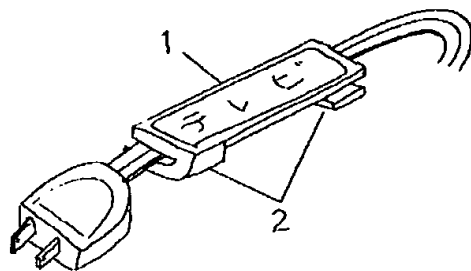
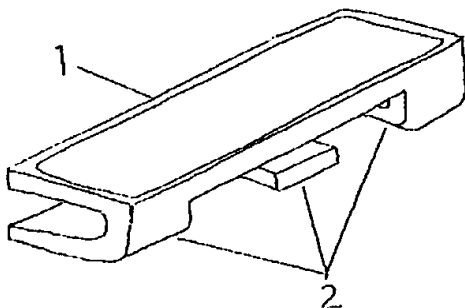
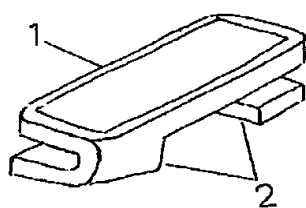
1 ネームタグ

20 2 電源コード挟み部

【図1】

【図2】

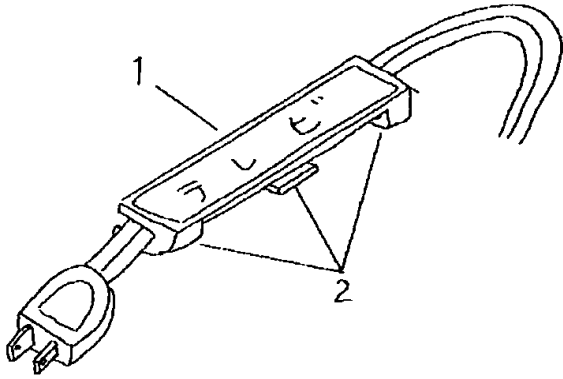
【図3】



(3)

特開平9-146463

【図4】



【図5】

